

超音波検査（腹部）

検査方法

超音波を対象物(身体)にあて、対象物の中から反射してくる音波をコンピューターで映像化し、臓器の形態や血流動態を観察する検査です。臓器の大きさや形、腫瘍や異常の有無、胆嚢や腎臓の結石などがわかります。ベッドに仰向けで寝ていただき、超音波の伝搬をよくするために温かいエコーゼリーを塗ります。必要に応じて体位変換や、息を吸ったり吐いたりしていただきます。

検査時間

おおよそ10分～30分です。

ただし、検査の種類・患者様の体格・体調などにより異なります。

その他・注意事項

- 検査時6時間前より食べたり飲んだりなさらないで下さい。
- 口が渇いて困る場合は、お茶か水に限り口を湿らす程度に少量飲んで結構です。
- お薬を内服・注射中の方は、医師の指示に従ってください。
- 膀胱に尿がたまった状態で検査することが好ましい場合がありますので、検査前1時間くらいは排尿を我慢して下さい。
- 検査部分にエコーゼリーを塗るために露出していただきます。軽装での御来院をお願いします
- 乳児の方は、3時間前より絶飲食をお願いします。ミルクを飲ませながら検査をする場合もありますので、ミルクをご持参ください。